



泉丘SSHだより



第10号 H29.3.24
編集：SSH推進室
発行責任者：宮崎 栄治

石川県立金沢泉丘高等学校



科学の甲子園



3月17日(金)～20日(月・祝)に、茨城県つくば市で科学の甲子園全国大会が開催されました。この大会は理科、数学、情報等の知識を問われる筆記競技と、それらの科目について実験・実習等を行う実技競技、さらに総合競技を行い、合計得点で順位を決定するイベントです。本校からは理数科2年生の、荻野 恭輔君、砂山 風磨君、徳田 駿君、金子 舜君、木下 颯馬君、物部 優太君、小林 賢太郎君、柿本 理一君が石川県代表として出場、見事全国17位となりました！

地学オリンピック 銅賞受賞！

3月12日(日)～14日(火)にかけて、茨城県つくば市で地学オリンピックの本選が行われました。1月に開催された予選を通過した中学3年生から高校2年生57名と、チャレンジ受験の中学2年生3名が参加して、記述試験や鑑定試験で得点を競い合いました。本校からは理数科2年生の金子 舜君が参加し、銅賞(金賞・銀賞各10名に次ぐ上位10名)を受賞しました。おめでとうございます！



京都大学サイエンスフェスティバル



3月18日(土)に京都大学で上記のイベントが行われました。「野菜の鮮度測定方法の開発および鮮度保持方法の研究」班の小田 郁久美さん、山口 洵さん、常田 知希君、中田 健誠君が、パワーポイントを用いて口頭発表をしました。



京都大学サイエンスフェスティバル

京都大学と高大接続・高大連携に関する協定を締結している県の代表高校が、課題研究の成果を発表するイベントです。今回は13の都府県・市から代表校が発表しました。

日本植物生理学会 年会特別企画 高校生生物研究発表会

3月17日(金)～19日(日)にかけて鹿児島大学で行われた日本植物生理学会に、「高等学校の実験環境における大腸菌由来ヒートショックプロテイン(HSP)の検出」班の加藤 晴香さん、由井 嵩朗君、「土壌と植物の生長」班の栗森 雅さん、袖 明日香さん、別宮 ノエルさん、そして生物部の新谷 紗也さん、中山 侑香さん、武田 麻寛君、若林 勇太君が参加しました。



高校生生物研究発表会

ポスター展示による高校生の研究発表。広い意味で植物に関連した研究を対象とし、藻類や菌類などの研究も含まれます。

CS学際科学特別講義 大気圧を測ってみよう!



対象：理数科1年生

2月10日(金)に、金沢工業大学を訪問し、物理分野の実験をさせていただきました。今回の講師は田中忠芳先生で、ピストン付きシリンダーと上皿ばかりを使用して大気圧を測定する実験をグループで行い、計測値から読み取れることを考察する研修でした。

生徒の感想

自転車のタイヤの空気入れを使って実演してくれたので、話を聞くだけよりも分かりやすかった。

大気圧という目では見ることができないものをシリンジを使って求めるということで、ただ計算をするだけよりも具体的にイメージできたのでよかった。

ボイルの法則など、習っていない部分も分かりやすく解説してもらえたのでよかった。



コスモサイエンスⅡ 特別講義

なぜ私は科学技術者になるのか

対象：理数科2年生

3月15日(水)に、東京工業大学リベラルアーツ研究院の札野順先生をお招きし、科学技術倫理についての講義をしていただきました。

人類の未来を左右するかもしれない技術と共に生きている私達は、この激変する世界でどのように技術と向き合っていかなければならないのか、また、技術者に求められているものとは何かということ等について学ぶことができました。



AI課題研究Ⅰ テーマ検討会

対象：理数科1年生

3月17日(金)に理数科1年生によるポスターを使用したテーマ検討会を開催しました。今回のポスターは、来年行うAI課題研究Ⅱを見越して、各分野の先行研究をリサーチし、まとめたもので、様々な分野から8つのテーマが選ばれました。発表の様子を紹介します。



アーチの曲線と橋の強度の関係について



紙の水溶性



紫外線を使った太陽光発電の改善



浸透圧を利用した食品保持



銀鏡・銅鏡反応を応用した金属めっき



極限環境で生きる生物を使って、火星に存在可能な生物を調査する



ミドリムシ



生物と音の関係性

